

2013年3月12日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

Tim Berners-Lee が World Wide Web の発明をしてから 25 年 — 世界で祝す Web25 周年 —

2014年3月12日は、Tim Berners-Lee が World Wide Web の発明をしてから 25 年となる記念すべき日です。本日まで世界中の Web ユーザからメッセージをいただいています。慶應義塾 SFC 研究所に W3C/慶應義塾大学 (W3C 慶應) を 1996 年 9 月に設置して以来、東アジア地区を担当する W3C 運営ホストを担っています。

Berners-Lee が設立した 2 つの組織、World Wide Web Foundation と World Wide Web Consortium は、この機会を軸に、オープン Web の保護と強化を推進してゆきます。W3C は 2014 年 10 月に多くの方々をお招きしてシンポジウム (w3.org/20) を開催、World Wide Web Foundation は Web We Want movement <webwant.org> と称し、全ての国において Web ユーザの権利が法的に保護されることを確保するためにグローバルなキャンペーンを進めます。

1. World Wide Web25 周年に寄せるコメント

2012 年 ロンドンオリンピック開会式で、Berners-Lee が全世界に語りかけた「This is for Everyone – 全ての人のために」という言葉は、Web そのものを指しています。そして本日、彼はこう述べています。

「Web を使用する数十億の人々が、今の形に Web を造り上げたのです。その皆さんと共にこの記念すべき日をお祝いしたいと思います。この記念日は、Web にこの成功をもたらした信条を守るものでもあり、Web の限らない可能性をこれから先に、より解き放つものとなります。

Web は全ての人のために造られるものです。全ての人が Web を使って、どのデバイスからも、人類としての権利と可能性を手に入れるために、そして誰の尊厳を損なうことなく各人の目的を達成するために存在します。Web を使ったあなたの夢を、是非 #web25 へお寄せ下さい。」

Berners-Lee 旧知の友人である慶應義塾大学 環境情報学部長/教授、W3C/Keio Associate Chair 村井純は、これからの Web のために、このように表明しています。

「インターネット上のオープン Web プラットフォームは、80 億人類の創造性と生産性の基盤です。すべての産業分野の発展を担うために Web とインターネットの未来に尽力します。」

1989 年 3 月以来、Web は全世界の中でコミュニケーション、創造、そしてコラボレーションをするためにその変化を続けています。今や全人口のうち、5 分の 2 を超える人々が地理や文化の違いを超えて繋がっています。毎分のように数百億のメッセージが飛び交い、200 万枚以上の写真を共有し、少なくとも見積もっても 1,500 万ドルの品やサービスが行き交っています。Web の成功とは、そのオリジナルデザインが分散的なシステムであり、誰もが割り上げることができるオープンなアーキテクチャであるからと言えるでしょう。

W3C は、飽くなき挑戦やそれらの打開案を追求し続けることで、未だにその才幹を全て露わにしていないうオープンな Web の本領を見いだすことができます。本年度 2014 年、そしてその先も、Berners-Lee は全ての Web ユーザ、ビジネスに携わる人々、そして政策決定機関のためにも特に次の課題へ挑戦し続けます。

- * 未だに Web に繋がっていない全人口の 5 分の 3 の人々に、どのように繋がっていったらいいでしょうか？
- * 国や地域によって展開されているインターネットの規制へどのように関わってゆけるでしょうか？未だ混迷を持つ Web へのダメージを解決する方向へ向けた包含的な解決法は？
- * Web は、検閲や監視、サイバー犯罪などにより常に脅かされています。どのようにして、オンライン上での社会的な自由やプライバシー、そしてセキュリティを確保する事ができるでしょうか？

現在、10%未満の政府が Web の能力を利用して、公共交通機関や腐敗防止を向上させるべく、そのデータの再利用を驚くべき早さで採用・展開しています。オープンデータの真価を解き放つために、どのようなステップを実施してゆくべきでしょうか。

産業界は、オープン Web プラットフォームに相互運用や可動性を備えた、あらゆる形やサイズのデバイスに繋がるパフォーマンスを期待しています。それらに応えるべく、どのようにその各多様性に取り組んでいったらよいでしょうか。

限られた社会の中でのコミュニケーションに対して、継続した変化と先進性を追求し続ける開かれたエコシステムを展開するにはどのようにしたら良いでしょうか？

そして Berners-Lee はこうも述べています。「本当に Web を全ての人に届けるためには、全ての人が“次の 25 年”を見据えてゆかなければなりません。」
どうぞ、<#web25>へメッセージをお寄せ下さい。<webat25.org>サイトへ掲載させていただく場合もごさいます。

2. 今後のイベント等について

Tim Berners-Lee は、日本時間 3 月 13 日 (木) 午前 5:00 (グリニッジ標準時 3 月 12 日 (水) 午後 20 時)、Reddit で AMA (Ask Me Anything -何でも聞いてね) セッションを開催します。是非ご参加下さい。

また、Web Foundation が共同運営している<webwewant.org>へご登録下さい。所在国や各コミュニティで開催される、Web 上におけるユーザの権利や実践の議論やイベントを随時ご案内します。

本年度 10 月 29 日 (水) には、W3C の 20 周年記念シンポジウムがアメリカ・サンタクララにて開催され、その様子はライブストリーミングでも中継されます。その祝賀会は、数々のディスカッションを通して、Web の未来形への構想を膨らませるまたとない機会となるでしょう。

W3C を始め、多くの組織が Web25 周年を記念する活動を予定しています。随時更新される<webat25.org>をご覧ください。是非ご参加下さい。

W3C と World Wide Web Foundation は、本祝賀へ多大なご協力をいただいている Intel 社に感謝の意を表します。

3. 参考情報

【Web (初期) の軌跡】

1989 年 3 月 : Tim Berners-Lee が CERN (欧州原子核研究機構) にて「Information Management: A Proposal」を執筆・回覧。

1990 年 10 月 : Berners-Lee が NeXTStep の開発環境を使用した GUI browser+editor のハイパーテキスト開発に着手。

1991 年 8 月 : FTP を経由した Web ソフトウェアがインターネット上で実行可能となる。

1992 年 8 月 : Pei Wei' s “Viola” GUI ブラウザの X テストバージョンが使用可能となる。

1993 年 2 月 : NCSA が Marc Andreessen 「Mozaic for X」の試作品を発表。

1993 年 4 月 : CERN が WWW (World Wide Web) 技術は、誰もが無償で使用できるという声明を発表。

1994 年 5 月 : 第一回目の WWW 会議をスイス・ジュネーブで開催。

1994 年 10 月 : Berners-Lee が W3C (World Wide Web Consortium) を創設。

2004 年以降の Web の軌跡は、Tim Berners-Lee のプレゼンテーション『How it all Started』をご参照下さい。

<http://www.w3.org/2004/Talks/w3c10-HowItAllStarted/?n=0>

【Tim Berners-Lee について】

英オクスフォード大学を卒業後、1989年の欧州原子核研究機構(CERN)在籍中にグローバルな情報共有を実現するため、インターネットを使ったハイパーメディア・イニシアチブであるWorld Wide Web (WWW)を発明し、1990年に世界で最初のWebクライアントとWebサーバを作りました。彼の提案したURI、HTTP、HTMLの仕様は、Web技術の普及に伴い洗練されたものとなっていきました。

Tim Berners-Lee 職位

World Wide Web Consortium (W3C) ディレクター

World Wide Web Foundation ディレクター

米マサチューセッツ工科大学工学部電気工学科及びコンピュータ科学・人口知能研究所(CSAIL)の3Com創設者会冠教授兼分散情報グループ(DIG) トップ

英サウサンプトン大学電子コンピュータ科学部学部長兼教授

Tim Berners-Lee の経歴詳細(英文)はこちらをご覧ください。

<http://www.w3.org/People/Berners-Lee/>

【ワールドワイドウェブコンソーシアムについて】

World Wide Web Consortium (W3C)は、Web標準化の開発を目的とし、会員組織、フルタイムスタッフ、および公的団体が連携する国際コンソーシアムです。W3Cは、Webの長期的な成長の確保を目的としたWeb標準およびガイドラインの作成を通じ、その使命に尽力しています。Open Web Platformは現在、我々が最も注力している分野です。380を超える組織が、本コンソーシアムの会員として参加しています。W3Cは、米MIT Computer Science and Artificial Intelligence Laboratory (MIT CSAIL: マサチューセッツ工科大学計算機科学人工知能研究所)、仏European Research Consortium for Informatics and Mathematics (ERCIM: 欧州情報処理数学研究コンソーシアム)、中国Beihang University (北京航空航天大学)、および日本の慶應義塾大学により共同運営されており、各国のW3Cオフィス各国にW3Cオフィスを設置しています。詳細については、<http://www.w3.org> をご覧ください。

【ワールドワイドウェブファンデーションについて】

World Wide Web Foundation<webfoundation.org>は、オープンWebを使用する際の基本的権利を保つため、そして誰もが世界中のどこからでもグローバルにコミュニケーションをとれるようにするために、Tim Berners-Lee 卿によって設立されました。

World Wide Web Foundationは、60カ国に渡り90を超えるパートナー組織と共に20のチームで構成されています。現在は、急成長をしているWeb We Want <webwewant.org>と共に開示された契約に伴うOpen Contracting Data Standardの創案・遂行に取り組んでおり、幅広い技術分野を網羅するAlliance for Affordable Internet <a4ai.org>を率いる先駆者でもあります。

World Wide Web Foundationは、Webの普及や有用性、その影響力等を多次元に測るためのガイドラインであるWeb Index <thewebindex.org>も制定しています。Web Indexは2012年の公開後に各批評家から賞賛を受けました。2013年版は20カ国以上における価額、検閲、監視、ジェンダー、オープンデータ等の主要テーマを加えて刊行されています。

<お問合せ先>

プレスの方のお問合せ :

Ian Jacobs, ij@w3.org, +1. 718. 260. 9447

W3C/Keio へのお問い合わせ :

keio-contact@w3.org, 0466-49-1170

<配信元>

慶應義塾大学 湘南藤沢研究支援センター 広報担当

kri-pr@sfc.keio.ac.jp, 0466-49-3436